

○ハルザキヤツシロランの移植による観察(杉野孝雄) Takao SUGINO: Observation of a saprophytic orchid, *Gastrodia nipponica* in pot culture

昭和55年6月8日: 静岡県周智郡森町で腐生ランの一種を採集した。すでに花期を過ぎ果実になっていたが, 当日同行されていた津山 尚博士の御教示で, ハルザキヤツシロランと推定できた。

花を観察する目的で, 当日1株を掘り取り, 研究室内で栽培した。栽培には直接の生育地の腐植土を使い, これをふるい, 粗大ごみを除き, 直径 15 cm の素焼の鉢に入れ, 浅く植えつけた。表面には水ゴケを置き乾燥するのを防ぎ, 水をほぼ1週間に1回の割合で与えた。鉢は窓から3m ほど離れた机の上に置き散光を当てた。

昭和55年7月2日: 匍枝が伸びていることに気が付き, 掘り出して写真に写した(図1 A)。匍枝の長いのは 14 cm に達していた。また, 匍枝の発生する付近に, 長さ3 mm ほどの匍枝よりやや太い, 小突起がみられた(図1 A 矢印)。地下茎の全長は 68 mm であった。観察後, 地下茎から花茎の出た所と反対側の先端(図1 A の右端)が 17 mm

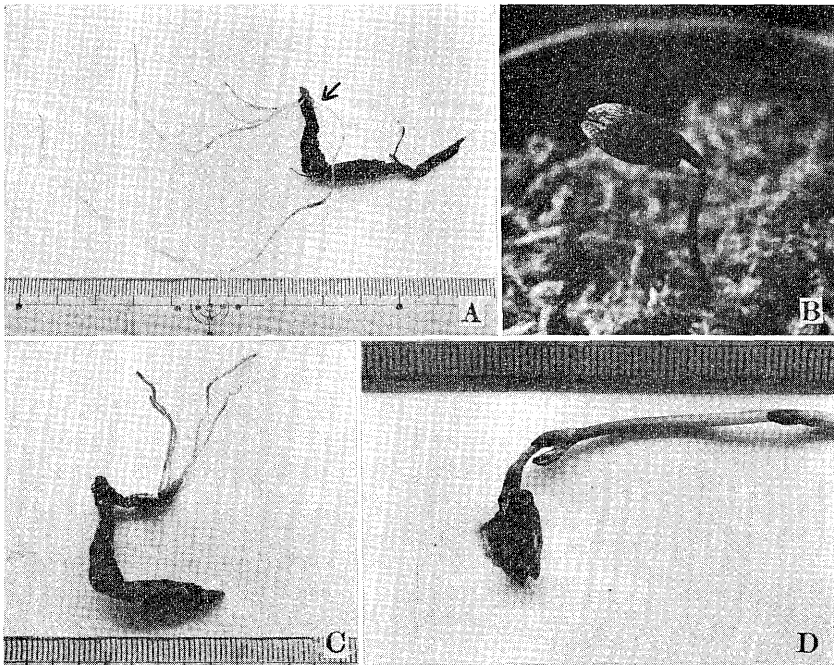


図 1. ハルザキヤツシロラン A, 昭和55年に植えつけた地下茎. 一番長い匍枝の基部に, 新しい地下茎が小さな突起としてみられる(矢印). B, 開花直前 $\times 7/10$. C, 昭和56年に開花した後の地下茎. 上端右に伸びているのが新生した地下茎. D, 不稔の蕾をつけたハルザキヤツシロラン.

だけ折れたので、残ったL字形の全長 51 mm の部分のみを再び植えた。

昭和56年3月12日：花莖が地上に伸び始めた。観察を続けたところ、3月30日になって開花した(図1 B)。花の形態から、ハルザキヤツシロラン *Gastrodia nipponica* (Honda) Tuyama と同定した。本報告は、本種の静岡県における新分布の報告でもある。花莖 40 mm, 花筒の長さ 22 mm, 幅 10 mm, 先端は3裂し半開きで反曲しない。

5月18日：地下茎を掘り出し観察したところ、前年、匍枝の発生する付近にあった突起が大きくなり、長さ 11 mm, 幅 2 mm の地下茎に成長し、その先端に花莖がついたことがわかった(図1 C)。新しく生じた地下茎を除いた部分の全長は 49 mm で、前年の観察より若干小さくなっていった。

以上のことから、ハルザキヤツシロランは、毎年、地下茎を1節づつ伸長し、その先端に花をつけていくと思われる。このことは、前年度の地下茎と次年度の地下茎の間が狭縮していて、かつ前年度の地下茎の先端部に、匍枝の残渣がついていることから判断できる。

参考のために、ここに野外での観察記録を加える。5月10日および17日に自生地での開花状態を観察した。5月10日：7株中1株が開花していた。5月17日：10株中1株を除き、いずれも花筒の先端が枯れ、しぼみ始めていた。栽培した株の花の観察からも、1花の開花期間は3～4日と思われる。また、静岡県の自生地での花期は5月中旬で、複数株の開花期間は、10日余りにわたると思われる。

花の数は、17株中1個が11株、2個が4株、3個が2株で、1個のものが65%を占めていた。興味深いことは、全株共、最上端の花より上にある花苞の腋に、長さ5 mmほどの小さな不稔の蕾がみられることである(図1 D)。これは、そのまま成長せずに終ると思われる。

生育地の環境は、上層はアカマツとツブラジイで覆われ、中下層にツブラジイ、アラカン、ヒサカキが生育している。林床には腐植土が堆積する。

この報告をまとめるに当たって、常々御教示を賜っている津山 尚博士に、深く感謝の意を表します。

A young plant of *Gastrodia nipponica* (Honda) Tuyama was collected in June, 1980 at Morimachi, Shizuoka Prefecture. The tuber of this plant was transplanted in a pot, and the later development of the flower and subterranean organs was continuously observed until May of the next year. In addition, time of anthesis of this species at the natural habitat and in the artificial condition was compared. (静岡県立掛川西高等学校)